

平成24年3月9日

各位

頭取 久保田 勇夫

東日本大震災から一年を迎えるに当たって

来る3月11日をもって、未曾有の大震災の発生から一年が経ちます。

この日、我が国では、震災により犠牲となられた方々に哀悼の意を表すべく、政府による「東日本大震災一周年追悼式」が午後2時30分から国立劇場で執り行われ、午後2時46分を期して、式場において1分間の黙とうが捧げられることとなっています。

当行は同日、これに合わせ、本店本館と別館に弔旗を掲揚します。当行グループの役職員とその家族も、同日午後2時46分、それぞれの場所において、鎮魂の日が希望の日となることを願いつつ、震災により犠牲となられた方々に心からの哀悼の意を表し、黙とうを捧げます。

我々の脳裏には、刻々と悪化する被災地の痛ましい惨状と、被災者として悲惨な現実に対峙しながらも、他人をいたわり、相携え、励まし合って苦難を乗り越えようと懸命に力を振り絞る人々の姿が、今でも深く刻み込まれています。

現在、国を挙げて復興支援が進められていますが、いまだ多くの方々が、深い悲しみを胸に苦しい生活を余儀なくされています。被災者の方々の窮状が少しでも好転し、復興への希望につながっていくことを切に願うものであります。

以上